

■第1講～第8講のポイント整理
(H30の試行調査第1問)

第1講 ～授業方針、設問の俯瞰～

- ・授業方針の説明
→頭の動かし方を学ぶ
- ・傍線問題
→前後の文脈を重視
- ・「どういうことか」
→傍線部の換言・補充
- ・入試現代文の本質
→筆者・出題者・受験生・採点者の四項関係
- ・設問要求、条件の把握
→条件があることによって、客観的採点が可能に
- ・「書く前」=条件確認、
「書いた後」=見直し

1

■第1講～第8講のポイント整理
(H30の試行調査第1問)

第2講 ～文章読解、問1の根拠拾い～

- ・思考の3要素＝**類比・対比・因果**(発展)
- ・伝達の3要素＝**例示・比喩・引用**
- ・読解のツール＝**指示語・接続語**
- ・傍線部を要素に**分解**。「困難は分割せよ」
→前後の文脈からポイント(根拠)を拾いきる
- ・**比喩**→裏の意味を考えよ！
- ・「**不思議**」→対比を説明

2

■第1講～第8講のポイント整理
(H30の試行調査第1問)

第3講 ～問1の記述答案作成～

- ・読解力+表現力
→「**裏読み**」が新たに問われるのが新入試
- ・**範囲の特定**
- ・答案作成のプロセス
①下書き・推敲
②解答用紙に書く
③見直し
→①を入れるかどうかは各自で決める
- ・表現・表記のNG
→主述のねじれ
文体の不統一
話し言葉
→**第三者に見てもら**
のが有効
- ・指定字数の**8割**は満たすこと！

3

■第1講～第8講のポイント整理
(H30の試行調査第1問)

第4講 ～問1の採点基準の確認～

- ・解答確認(答え合わせ)
→自分が作った表現と違うもの
→どこから出てきたか確認
- ・表現の選択
①原則、**覚えるものはそのまま**使う
(採点者にストレスを与えない)
②比喩、具体例は一般化
③ベストな表現を選ぶ
- ・**実質(内容) > 形式**(字数、指定語句)

4

■第1講～第8講のポイント整理
(H30の試行調査第1問)

第5講 ～文章読解+問2の根拠拾い～

- ・傍線部の中・前後の**指示語**
→必ず指示内容を押さえよ！
- ・「**まとめ**」の**指示語**＝要約の接続語
- ・ポイント数への意識
→「A=B」は1ポイント
→「A→B」は2ポイント

5

■第1講～第8講のポイント整理
(H30の試行調査第1問)

第6講 ～問2の根拠拾い+記述答案作成～

- ・言い換えするときの注意点
→文脈無視(「ウォーリーを探せ」)、表面的な換言はNG
→**前後の文脈の反映**を！
- ・傍線部の換言・補充
→前後の文脈(論理関係)の徹底精査
→解答に反映させる
- ・要素の配置
→**接続型、補結型、表結型**
→部分においても成立
- ・**論証責任**の考え方
→頭括型などの発見にもつながる
- ・「**裏読み**」の内容把握
→それに対応する「**裏読み**」を探せ！

6

■第1講～第8講のポイント整理
(H30の試行調査第1問)

第7講 ～問2の採点基準確認+文章読解+問3の根拠探し～

- ・具体例・比喩の一般化
→そこまでこだわらなくてもよい？
- ・記述問題
→**空欄には氣を遣うこと!**
- ・設問と資料の**仕度**

7

■第1講～第8講のポイント整理
(H30の試行調査第1問)

第8講 ～問3の根拠探し+記述答案作成+採点基準確認～

- ・「なぜか」
→明示された因果関係、潜在している因果関係
→本質は「**真意の補充**」

8

第2問 実用的文章

【資料Ⅰ】ポスター(「著作権のイロハ」)
【資料Ⅱ】著作権法の条文
【文章】著作権について

■設問の内容 (赤字は配点)

⑩問1 漢字
⑥問2 傍線問題 → 具体例選択
⑧問3 内容一致問題(内容)
⑨問4 傍線問題 → 説明
⑧問5 内容一致問題(表現)
⑨問6 空欄問題(資料Ⅰ)

問	設問	解答文字	正解	配点
問1	1	工	工	2
	2	卵	卵	2
	3	常	常	2
	4	摘	摘	2
	5	備	備	2
	6	的	的	2
問2	1	工	工	4
	2	摘	摘	4
	3	常	常	4
	4	摘	摘	4
	5	備	備	4
	6	的	的	4

9

第2問 問1 漢字

⑤④③②① ア
余緻稚報報合
地密拙知命致

⑤④③②① 工
累一乱出欄閑
卵覽世藍干真

⑤④③②① イ
摘警水適匹適
発笛滴度敵合

⑤④③②① 才
常施讓冗割過
備錠造長余割

⑤④③②① ウ
端落破担丹兩
的胆綻架精端



10

■第9講～第12講のポイント整理
(H30の試行調査第2問)

第9講 ～これまでの復習+第2問の特徴+問2～

- ・資料
→「ざっくり読む」でOK
→必要に応じて**スキヤニング**
- ・問題提起→答
- ・文中接続語
→AではなくB(否定):対比整理!
AよりもB(比較)
AだけではなくB(追加)
- ・明確な相換を捨てる
→選択肢チェックが容易

11

■第9講～第12講のポイント整理
(H30の試行調査第2問)

第10講 ～問6、問4の選択肢絞り込み～

- ・注
→見ないと理解に支障をきたすものに限って見ればよい
- ・表(図)番号の初出時
→必ずCheck!
→表の定義、意味、意図などが明確
- ・論理構造から先を推測
→スピードアップが可能
- ・「表現←内容」の対比
→頻出!
- ・選択肢の共通構造
→ヒントを与えてくれる

12

■第9講～第12講のポイント整理
(H30の試行調査第2問)

第11講 ～問4フィニッシュ、問3の選択肢絞り込み～

- ・定義表現
→「AとはBである」
→絶対的な参照軸
- ・内容一致問題
→消去法が有効
→誤答選択肢は ①矛盾 ②なし
- ・本文不在の価値判断に注意
(形容詞、形容動詞的な表現)
- ・内容一致、不一致の判定においては
①記憶でいけるもの
→戻らない
②記憶でいけないもの
→範囲を固定→確認

13

■第9講～第12講のポイント整理
(H30の試行調査第2問)

第12講 ～問3フィニッシュ、問5、問1～

- ・固定には注意
- ・迷ったら、対応度の高いほうを選ぶ
- ・表現の問題
→「表現方法→表現効果」の因果関係に着目
- ・筆者の主張の形
→①定義 ②渡言
- ・筆者の主張の探し方
→①強調表現 ②反復表現
- ・漢字
→30問の練習問題として活用

14

第3問 詩とエッセイ

■設問の内容 (赤字は配点)

⑨ 問1 語彙
⑧ 問2 傍線問題 → 「なぜか」
⑥ 問3 傍線問題 → 説明
⑦ 問4 傍線問題 → 説明
⑧ 問5 傍線問題 → 「なぜか」
⑥ 問6 (i) 空欄問題 (表現)
⑥ (ii) 内容一致問題 (表現)

問番号 (配点)	設問	解答番号	正解	配点
第3問 (30)	1	1	5	3
		2	4	3
		3	3	3
	2	4	2	8
	3	5	4	6
	4	6	2	7
	5	7	4	8
	6	8	2	6
	9	9	1	6

15

■第13講～第15講のポイント整理
(H30の試行調査第3問)

第13講 ～問1、2、3～

- ・複数のテキスト
→「詩」と「エッセイ」
→両者を往復して趣旨理解
↓
「紙」と「花」の類比関係の把握
- ・語彙問題
→原則、辞書的定義に従う

16

■第13講～第15講のポイント整理
(H30の試行調査第3問)

第14講 ～問4、5、6(i)～

- ・本文中の明示された情報を押さえる
→正しく理解・解釈
→それを反映した選択肢を選ぶ
- ・具体的な内容は抽象化
(例) 個人の見、嗅いだもの
→個人の体験
- ・対応度の高い選択肢に絞る

17

■第13講～第15講のポイント整理
(H30の試行調査第3問)

第15講 ～問6(ii)、(iii)～

- ・抽象語(帰納、演繹など)
→辞書orキーワード集を活用してストックを増やそう!
→「覚える(暗記する)」というよりも、その語を「自分のものにする」ことが重要!
- ・空欄問題
→前後の徹底精査!
- ・表現問題における頻出事項
①視点 ②比喩・譬喩
③時系列 ④文体・表記

18